

Column1	Column2	Column3	Column4
年度	重点目標	主な取組内容	成果指標・確認方法
令和8年度	中学校を中心とした長時間化の要因分析と改善着手	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における年360時間超・月45時間超の要因分析（部活動・生徒指導・1学期集中） ・部活動指導員・外部指導者の配置拡充に向けた検討・調整 ・1学期（4～6月）の業務平準化（行事・会議・生徒指導体制の見直し） ・ストレスチェック集団分析の開始 ・校務DX（校務支援システム活用、調査・アンケートの整理）の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・月80時間超：0人 ・年360時間超の人数・割合（前年度比減） ・勤務状況（月次）
令和9年度	月45時間以内・年360時間以内の100%達成	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員・外部指導者の段階的拡充 ・生徒指導・支援体制の組織化（家庭子ども相談員、SSW、SCの連携強化） ・共同学校事務室による事務のさらなる標準化 ・定時退勤日・留守番電話の運用状況点検 ・年次有給休暇取得促進（管理職マネジメント強化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・月45時間以内・年360時間以内：100% ・年休平均取得日数（16日以上） ・勤務状況（月次・年次）
令和10年度	業務量管理の定着と質的改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営・校務分掌の見直しによる業務の属人化解消 ・校務DXの深化（業務効率化の好事例共有） ・部活動の在り方について、地域展開を見据えた課題整理（人材・費用等） ・ストレスチェック結果を踏まえた職場改善の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・月80時間超：0人継続 ・平均時間外在校等時間（町全体） ・学校評価（働き方改革項目）
令和11年度	平均30時間程度の達成と次期計画への接続	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組の総点検・検証 ・部活動地域展開に向けた方向性整理 ・次期計画（令和12年度以降）に向けた課題整理 ・教職員の働きがい・健康確保の取組の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体の平均時間外在校等時間：30時間程度 ・長時間者の発生状況 ・次期計画案の作成

- ・各年度の取組状況及び成果指標は、ICカードによる勤務管理システム等により把握し、教育委員会において点検する。
- ・必要に応じ、年度途中で取組内容の見直しや重点化を行う。
- ・特に月80時間超が発生した場合は、年度計画にかかわらず速やかに個別支援を行う。